

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-2		事業名	札幌市次世代エネルギーパーク事業			
担当	環境局環境都市推進部エネルギー対策課 安田 211-2872						
全体計画							
事業内容	次世代エネルギーパークは、国の施策である「新・国家エネルギー戦略」の中で具体的取り組み対応の一つとして盛り込まれたものである。これを受けて、札幌市は、新エネルギーを実際に市民が見たり触れたりする場として、複数の新エネルギー設備を集約して導入する「次世代エネルギーパーク」を構築し、未利用エネルギー利用の普及啓発及び環境教育を推進する。			<年度別の事業内容>			
				・平成19年度:次世代エネルギーパーク構想の策定 ・平成20年度:構想の具体化を行うため、基本計画の策定 ・平成21年度:整備開始			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	札幌市次世代エネルギーパーク構想策定委員会(外部委員会)を計4回開催し、構想の策定を行った。			平成19年度の構想の具体化を図るため、次世代エネルギーパーク基本計画を策定する。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
[次世代エネルギーパーク]構想を受けた整備計画の策定		-	構想策定	計画策定	/	/	策定 (20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 外部委員(学識経験者、エネルギー供給事業者、産業関係者)の協力を得て構想の策定を進めた。							
企業等との連携・協働 [資金協力] - [人材協力] - [情報協力] 外部委員から情報協力を得ている。 [その他の協力] -							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり 上記外部委員会の開催							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-2-2		事業名	札幌市次世代エネルギーパーク事業			
評価(成果)				課題			
次世代エネルギーパークの整備が実現できれば、新エネルギー普及啓発活動及び環境教育の拠点が創出され、市民・事業者が環境や新エネルギーについての理解を深め、新エネルギーの導入の促進に繋がることが期待できる。				実際の整備に向けては、国等の新たな補助制度の働きかけが必要である。			
今後の事業の予定・方向							
平成20年度は、前年度策定した構想の具体化を図るため基本計画を行い、21年度以降、次世代エネルギーパークの整備を行いたい。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	11,000	10,000	0	0	21,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	10,000	0	0	0	10,000
		一般財源	1,000	10,000	0	0	11,000
予算	事業費	11,000	12,000	-	-	23,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	10,000	0			10,000
		一般財源	1,000	12,000			13,000
実績	事業費	7,470	-	-	-	7,470	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	6,436				6,436
		一般財源	1,034				1,034
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				92.7%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度] 調査委託費の契約差金							
[20年度] 予算では、計画策定の他に、円山動物園のエネルギー転換等に関わる設計が加わった。							